



今月の新緑会報は広報担当の皆川研究室藤岡佳祐がお送りします。ここ数か月では、大成建設・戸田建設・大豊建設 JV 様が施工を担当する東京外環自動車道田尻工事の見学に伺い、Civil User Group の東京分会に参加し、また、建設技術研究所様やゼンリンデータコム様にも見学に伺うなどしました。

今回取り上げるのは、2016 年 11 月 22 日に開催された CIM JAPAN 2016 です。CTC 伊藤忠テクノソリューションズ様主催の本イベントには 2015 年にもお邪魔した際、とてもいい経験になったので、今回も伺ってきました。

3次元モデルを基に部材の属性を加えるなどして情報共有を図る CIM (Construction Information Modeling) 導入への動きは徐々にではありますが進みつつあります。企業ブームでは i-Construction による ICT 土工や、いわゆる“VR 元年”の動向などもあり、2015 年からの変化も感じられました。

会場でのセッションでは各社による CIM の取り組みについての説明があり、また、来年は皆さんがこの場で発表をするのですという旨の発表もあり、業界全体で変革を行わねばならないという意識が強く感じられました。